

10月8日(木)

13:30 開会の辞

櫻田 忍 (東北薬科大学機能形態学教室)

セッション I (13:35~14:20)

座長: 平澤典保 (東北大・院・薬・生活習慣病治療薬学)

福井裕行 (徳島大・院・HBS 研究部・分子薬物学)

I-1 13:35~13:50

マウス骨髄由来肥満細胞 (BMDC) からの IgE 依存性ヒスタミン遊離に及ぼす prostaglandin D₂ (PGD₂) の影響

○田中宏幸¹、東明香¹、村田健司¹、斉藤朝香¹、山下弘高¹、牛首文隆²、成宮周³、中村正孝⁴、稲垣直樹¹、永井博弼¹

(¹岐阜薬大・薬理、²旭川医大・薬理、³京大・院・医・神経薬理、⁴東京医歯大・疾患遺伝子実験セ)

I-2 13:50~14:05

化学物質によるアレルギー炎症の増悪化機構の解析-TSLP およびヒスタミンの関与

○平澤典保¹、佐藤望未¹、大澤雄亮¹、大内和雄²

(¹東北大・院・薬・生活習慣病治療薬学、²安田女子大・薬)

I-3 14:05~14:20

高血圧モデルラットマスト細胞における抗原抗体反応の減弱機構

○田中智之¹、阪中麻利子²、古田和幸²、市川厚²

(¹岡山大・院・医歯薬・生体機能化学、²武庫川女大・薬)

セッション II (14:40~15:40)

座長: 谷内一彦 (東北大・院・医・機能薬理)

米澤章彦 (東北薬大・機能形態)

II-1 14:40~14:55

食餌剥奪による視床下部弓状核尾側ニューロンの活性化における histamine 神経の関与

○梅原隼人¹、水川奈己¹、水口博之¹、森川吉博²、仙波恵美子²、福井裕行¹

(¹徳島大・院・分子薬物、²和歌山県医大・医・解剖学第二)

II-2 14:55~15:10

口腔内諸感覚による脳内ヒスタミン神経系の活性化

○石塚智子¹、裕哲崇²、室谷知孝³、森本彩³、大和谷厚³、大浦清¹

(¹大阪歯科大・歯・薬理、²朝日大・歯・口腔生理、³大阪大・院・医・保健)

II-3 15:10-15:25

Dipeptidyl peptidase-IV (DPP-IV) 阻害薬門脈内投与による求心性迷走神経を介した視床下部神経ヒスタミン放出および食行動に対する影響

○藤原貫爲、後藤孔郎、千葉政一、正木孝幸、加隈哲也、吉松博信
(大分大・医・総合内科学第一)

II-4 15:25-15:40

神経性食欲不振症患者における脳内ヒスタミンH1受容体密度の測定

○田代学¹、吉沢正彦⁴、福土審^{3,4}、内海厚⁴、鹿野理子^{3,4}、加藤元久²、唐橋正子⁴、本郷道夫⁴、谷内一彦²

(¹東北大・サイクロ・サイクロ核医、²東北大・院・医・機能薬理、³東北大・院・医・行動医学、⁴東北大・病院・心療内科)

セッションIII (16:00-17:00)

座長： 櫻井映子 (いわき明星大・薬)
溝口広一 (東北薬大・機能形態)

III-1 16:00-16:15

マウスにおける覚せい剤誘発嘔み行動はL-ヒスチジン前投与により減弱される

○北中純一¹、北中順恵¹、立田知大²、河本あてな¹、三好晶雄¹、田中康一³、西山信好³、守田嘉男²、竹村基彦¹

(¹兵庫医大・薬理、²兵庫医大・精神科神経科、³兵庫医療大・薬・薬理)

III-2 16:15-16:30

統合失調症治療薬による脳内ヒスタミン神経系の活性化

○室谷知孝¹、五十川侑加¹、唐島道崇¹、石塚智子²、大和谷厚¹

(¹大阪大・院・医・保健、²大阪歯科大・歯・薬理)

III-3 16:30-16:45

Evaluation of remnant sedative effect of OTC antihistamines by measuring central H1 receptor occupancy using ¹¹C-doxepin PET

○張冬穎^{1,3}、田代学²、渋谷勝彦^{1,2}、船木善仁²、岡村信行¹、加藤正人³、谷内一彦^{1,2}

(¹東北大・院・医・機能薬理、²東北大・サイクロトロン RI センター・核医学、³東北大・院・医・麻酔科学)

III-4 16:45-17:00

ストレス反応に対するヒスタミン受容体の応答変化

○及川綾子¹、櫻井映子^{1,2}、井筒敏恵¹、張冬穎¹、助川淳³、吉川雄朗¹、谷内一彦¹

(¹東北大・院・医・機能薬理、²いわき明星大・薬、³東北大・院・医・分子薬理)

10月9日(金)

セッションIV (10:00~10:45)

座長： 川崎博已 (岡山大・院・医歯薬・臨床薬学)
西堀正洋 (岡山大・院・医歯薬・薬理学)

IV-1 10:00~10:15

Histamine 誘発血管弛緩反応に及ぼす levocabastine、olopatadine の影響

○小山敏広¹、榎原由生美¹、李思敏¹、金鑫¹、孫鵬遠¹、北村佳久²、川崎博已¹
(¹岡山大・院・医歯薬・臨床薬学、²岡山大・院・医歯薬・医薬管理学)

IV-2 10:15~10:30

Histamine H₃ receptor-mediated modulation of perivascular nerve transmission in rat mesenteric arteries

○孫鵬遠¹、金鑫¹、小山敏広¹、李思敏¹、北村佳久²、川崎博已¹
(¹岡山大・院・医歯薬・臨床薬学、²岡山大・院・医歯薬・医薬管理学)

IV-3 10:30~10:45

AGE-2 と AGE-3 誘導性のヒト単球の活性化に対するヒスタミンの効果-続報-

○高橋英夫¹、森秀治²、劉克約¹、和氣秀徳¹、西堀正洋¹
(¹岡山大・院・医歯薬・薬理学、²就実大・薬)

セッションV (11:05~11:50)

座長： 亀井千晃 (岡山大・院・医歯薬・薬効解析)
大和谷厚 (大阪大・院・医・保健)

V-1 11:05~11:20

空間作業記憶の保持過程における海馬ヒスタミンH1受容体の関与

○岡田晶子、加藤茜、応和貴子、亀井千晃
(岡山大・院・医歯薬・薬効解析)

V-2 11:20~11:35

脊髄 cimetidine 誘発疼痛関連行動の発現機構

○瀧澤裕、岩田陽子、溝口広一、渡辺千寿子、櫻田忍
(東北薬大・機能形態)

V-3 11:35~11:50

神経損傷モデルにおけるヒスタミン誘発疼痛関連行動に及ぼすトランスグルタミンナーゼの影響

○円子颯子、小林悠佳、米澤章彦、渡辺千寿子、溝口広一、櫻田忍
(東北薬大・機能形態)

セッションVI (14:00~15:00)

座長： 赤木正明 (徳島文理大・薬・薬理学)
大野 勲 (東北薬大・病態生理)

VI-1 14:00~14:15

Mogrolol の抗アレルギー作用機序について

○赤木正明、藤本優子、大島良康、松井敦聡、福石信之
(徳島文理大・薬・薬理学)

VI-2 14:15~14:30

鼻過敏症に対する抗ヒスタミン薬初期療法によるヒスタミン_{H1}受容体遺伝子発現抑制と症状改善
水口博之¹、北村嘉章²、近藤勇人¹、黒田若奈²、吉田陽香¹、宮本裕子¹、服部将史¹、
○福井裕行¹、武田憲昭²

(¹徳島大・院・HBS 研究部・分子薬物学、²徳島大・院・HBS 研究部・耳鼻咽喉科学)

VI-3 14:30~14:45

アレルギー性気道炎症における GM3 関連糖脂質の機能解析

○大野勲¹、奥山香織¹、永福正和²、大河原雄一¹、和田佳奈¹、河野資¹、高柳元明¹、
井ノ口仁一²

(¹東北薬大・病態生理、²東北薬大・機能病態分子)

VI-4 14:45~15:00

OCT-3 遺伝子多型と気管支喘息重症度の関連について

○山内広平¹、小笠原正人²、鹿内俊樹¹、小林仁¹、佐藤温子¹、佐々木信人¹、古和田浩子¹、似内
郊雄¹、井上洋西¹、前山一隆²

(¹岩手医大・医・呼吸器アレルギー膠原病内科、²愛媛大・医・統合生体情報学・薬理学)

15:00 閉会の辞

次回大会長 小野寺憲治 (横浜薬科大学)

懇親会 (18:00~20:00)